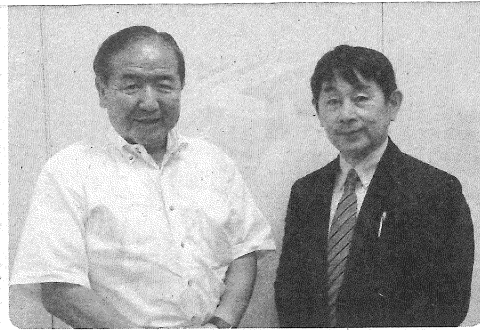


# 活躍の場広がる国家資格

働き方改革や人生100年時代の長寿社会の中、キャリア形成や能力開発について相談・助言を行う国家資格の専門家「キャリアコンサルタント」が注目されている。日本産業カウンセラー協会関西支部の五藤勝三支部長と坂本充キャリア・カウンセラー部長にキャリアコンサルタントの現状や将来性などを聞いた。



五藤勝三さん(左)と坂本充さん(右)

## 人に役立つ仕事

働き方改革が進み、定年延長やテレワークなど、職場環境は大きく変わりつつある。コロナ禍が長期化し、人間関係やハラスメントなどメンタル面で悩む人や離職、転職を希望する人も多い。

「キャリアコンサルタントは働く人の進路やキャリア形成、職業の適性などで悩む相談者に寄り添いながら、相談者自身が適切に問題解決できるようにサポートする専門家です。2016年4月から国家資格となり、年々登録者数が増え、21年8月末現在、全国で約6万人となっています。国としては24年までに10万人の登録者を目指しています。企業の人事・教育・企画立案などの部署だけでなく、シブブカフェなどの公的機関、人

## 実績ある養成講習で受験資格を取得

材派遣会社、大学などの教育機関、退職後のセカンドキャリアとしてのフリーランスなど活躍の場はますます広がっています。

資格取得の動機や理由は、「人の役に立つ仕事がしたい」「社員や部下のモチベーションアップにつなげたい」「学生のキャリア教育に生かしたい」など様々だ。自分自身のキャリアアップのため、新たな一歩を踏み出したいと考えている人に、ぜひ取得してほしい資格といえる。

### 問題解決のための傾聴力

ではキャリアコンサルタントの資格を得るにはどうすればいいのだろうか。国家試験は学科試験と実技試験(論述と面接)が年3回実施される。合格後、キャリアコンサルタント名簿に登録して、資格者として業務を行える。

受験資格を得るには厚生労働大臣認定の養成講習(150時間以上)を受ける必要がある。信頼できる実績豊富な機関での受講が資格取得の近道だ。

「当協会の養成講習は4か月の84時間のスクーリング(講義・実習)とe-Learningによる在宅学習

(69時間)で、受講者に合った細かい指導が特徴です。実習は受講者6人に講師が1人付く少人数のグループ制で、国が定めた基準を上回っています。カウンセリングの基本は「傾聴力」です。傾聴の態度・技法をしっかりと学び、キャリアコンサルタントに求められる「問題解決のための傾聴力」を身につけ、実践力を高める内容です」

この養成講習は国の「専門実践教育訓練給付制度」の指定講座なので、受講料の最大7割が給付される。ほかに受講料の割引特典や分割払いも利用できる。

現在はコロナ感染防止のため、オンラインによる講習も実施している。無料の講習オンライン説明会も行われているので、気軽に問い合わせみてはどうだろうか。



講師を囲んでのグループミーティング(イメージ)



一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 関西支部

カウンセラー協会 関西支部

検索

広告